◆健康と環境の情報誌◆

公益財団法人島根県環境保健公社

公社だより

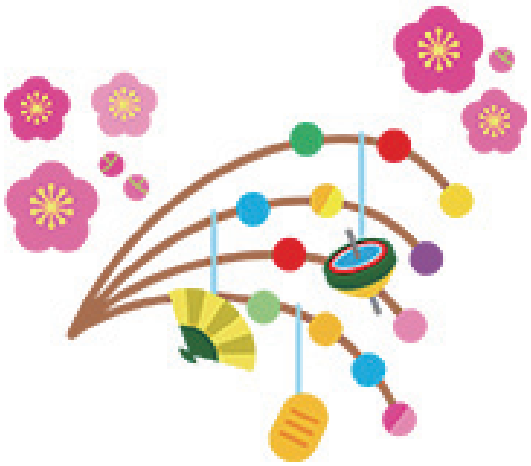
2021
No.144 1

INDEX

- 年頭のご挨拶…… 2
- 令和２年度
  市町村等保健担当者連絡会を開催しました…． 3
- 市町村等水道担当者連絡会を開催しました…． 4
- 令和２年度中海宍道湖技術研修会を開催しました‥ 5
- ガスクロマトグラフタンデム四重極型質量分析装置‥ 5
- Information…… 6

「美保神社」松江市

Shimane Environment & Health Public Corporation



年頭のご挨拶

理事長　吉川敏彦

年頭にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

改めまして、明けましておめでとうございます。

皆様には、この新春をどのようにお迎えになりましたでしょうか。

昨年は新型コロナウイルス感染症の流行により、社会生活全般にわたり活動自粛が求められ、誰も経験したことのない１年となりました。経済活動の低迷とともに、社会のさまざまな分野におきまして、従来の慣行からのパラダイムシフトが起こりました。特に、「３密」をさけるために、大企業を中心に業務がテレワークになるだけでなく、各種会議の開催をはじめ、懇親会や同窓会などプライベートな部分も含めて、社会全体としてオンラインへの移行が急速に進みました。

島根県でも、学校の長期にわたる休校、各種イベントの中止や延期、飲食店の営業自粛などが行われるなど、社会・経済活動に大きな影響があり、現在もその影響は出続けています。

公社におきましても、この新型コロナウイルス感染症の影響で、実施している住民健診や集合型健診を一時的に中止いたしました。一方で、健診現場や調査・測定現場での感染予防対策、公社で発生した場合の対応準備など、新型コロナウイルス感染症への対策も進めてまいりました。今後とも、新型コロナウイルス感染症の予防に努め、県民の皆様への安全な健診・検査サービスの提供に努めてまいります。

今、新型コロナウイルス感染症のワクチン開発が急ピッチで進められています。

新しい年が、安心して社会生活を送ることのできる１年となりますよう、そして皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げますとともに、公社への変わらぬご指導、ご鞭撻をお願い申し上げ、新年のご挨拶とします。

令和２年度市町村等保健担当者連絡会を開催しました

令和２年10月14日(水)に、「令和２年度市町村等保健担当者連絡会」（会場：ホテル白鳥）を開催しました。

当日は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら各市町村並びに各保健所の保健担当者の方々にご参加いただき、講演及び情報提供等を行いました。

【行政説明】

島根県健康福祉部健康推進課 がん対策推進室より「がん検診に係る事業報告及び説明」について行政説明を行っていただきました。具体的には、「がん検診受診率」「令和元年度コールリコール事業報告」「胃内視鏡検診に係るモデル事業（案）」「子宮頸がん検診精度管理事業」について、がん対策推進室 主任主事 宇都宮氏、主任主事 森下氏にお話しいただきました。

【講 演】

島根大学医学部地域医療支援学講座 教授 佐野千晶 医師より「地域における新型コロナウイルス感染対策について－現在・過去・未来－」と題してご講演をいただきました。

講演では、「感染症の基本」「新型コロナウイルスについて」「地域保健対策としての第２波～３波への備え」など分かり易くお話しいただき、ご参加いただいた皆さまからも「住民の方に正確な情報を伝えていくための知識を再確認できた」、「感染対策の基本を確認することが出来た」、「分かりやすく基礎から改めて学ぶことができた」、「メディアによる影響の大きさを感じた」「正しい知識の啓発に力を入れたい」、「緊急事態宣言後、落ち着いてきた感じがあるが、今回講演で学んだ内容を日々実行し、引き続き感染対策を徹底したい」などの感想が寄せられました。

今後も工夫を凝らし、県ならびに各市町村の皆さまと一緒に有意義な会を開催致します。

市町村等水道担当者連絡会を開催しました

令和２年10月22日(木)、松江市のホテル白鳥において「市町村等水道担当者連絡会」を開催しました。この連絡会は公社が主催し今回で20回目となります。各市町村の水道担当者など、約40名の方にご参加いただき、特別講演及び公社からの情報提供を行いました。

令和2年10月22日（木）　場所：ホテル白鳥

【特別講演】：「令和時代のレジリエントな水道を考える」

講師：名古屋大学　減災連携研究センター　准教授　平山修久 氏

ここ近年、各地で多発している地震や豪雨による自然災害に注目し、持続可能な水道のために何を考えていくべきか、多角的な課題についてお話しいただきました。

水道は重要なライフラインの１つとして、被災した場合には早急に復旧することが重要です。そのためには災害時の事業継続計画を立てることが必要であり、限られたリソースの中で「やるべきこと」と「やらないこと」の取捨選択が重要であると説明いただきました。

過去の経験を活かしながら、災害に対する想像を膨らませることが大切であり、レジリエントを確保するためには文明（モノ）と文化（ヒト）が必要であると説明いただきました。

特に、信頼関係を築くための情報提供やコミュニケーションが重要であるとお話しいただきました。

【情報提供】：「コロナ禍における水質検査の対応について」

新型コロナウイルスによる感染症拡大防止対策について、当社で実施している取り組みの紹介と、BCP（事業継続計画）の内容の説明をしました。その中で、仮に当社が水道水質検査業務を行えない事態になったとしても、災害時支援協定を結んでいる広島県環境保健協会の協力を得ることができる旨の説明をしました。

今後も充実した内容の連絡会を開催したいと考えております。

令和２年度中海宍道湖技術研修会を開催しました

令和２年11月20日（金）に『令和２年度中海宍道湖技術研修会』を開催しました。

“サンラポーむらくも”にて、島根県水産技術センター内水面浅海部の松本様と沖様に「中海宍道湖の魚類生息種の変遷」というテーマでご講演いただきました。水温や塩分、生息魚種の変化量に関して経年データを用いた講演は、とても勉強になりました。

この公社主催の研修会は、今年で８回目となります。環境関連行政の方々にもご参加いただきました。調査や分析技術の向上を図るため、来年以降も開催していきます。

ガスクロマトグラフタンデム四重極型質量分析装置（ＧＣ/ＭＳ/ＭＳ）に更新しました

～食品残留農薬分析、環境ＰＣＢ分析等に使用～

ガスクロマトグラフタンデム四重極型質量分析装置
(GC/MS/MS)

この度弊社では、ガスクロマトグラフ四重極型質量分析装置（GC/MS）の更新機器として、ガスクロマトグラフタンデム四重極型質量分析装置(GC/MS/MS）を整備しました。

GC/MS、GC/MS/MSともに、微量有機化合物を分析する際に用いますが、GC/MS/MSはGC/MSより選択性が高く、高感度分析が可能です。

さらに、本装置には、セルフクリーニングシステムが搭載されております。これは、様々な妨害物質による測定値への影響を低減することができ、より高精度な分析を可能にします。特に、食品中の残留農薬分析や環境分野ではPCB分析に有用です。今後、本機器を用いて各種分析に役立てていきます。

Information

人間ドックのご案内

申込方法：事前に下記の連絡先にてご予約ください

実 施 日：月曜日～金曜日、（金曜日は健診の日もありますのでお問合せ下さい）
（受付時間　8:00～8:45）

料　　金：日帰り人間ドック
35,000円（税抜）
1泊2日人間ドック
62,000円（税抜）

当センターでは鼻からの胃カメラも
実施しています。

公益財団法人島根県環境保健公社 お問い合わせは

内容	窓口	TEL・FAX
● 健康診断について	健診事業推進課	TEL0570-085-111 FAX0852-55-4528
● 人間ドックについて	ドック事業推進課	TEL0570-085-111 FAX0852-32-8585 フリーダイヤル 0120-81-5211
● 環境・食品検査について	環境事業推進課	TEL0570-085-111 FAX0852-55-4525
● 上記以外について	総務課	TEL0570-085-111 FAX0852-24-0122

営業時間 8:30～17:00（土日・祝日は除く）

ホームページにて最新の情報を掲載しております。
下記アドレスまでアクセスしてください。
https://www.kanhokou.or.jp/

おまかせください
住みよい環境 あなたの健康

私ども公社は「予防医学活動を主軸として環境保健事業を推進し、島根県民の健康の増進と福祉の向上に寄与する」の設立趣旨に沿って各種の事業に取り組んでいます

発　行
令和3年1月1日
公益財団法人島根県環境保健公社
公社だより編集委員会
〒690-0012
島根県松江市古志原一丁目4番6号
Tel 0570-085-111